




## 新年のご挨拶



新年、明けましておめでとうございます。昨年は、出張所通信「梅ヶ島 山の声」を9号発刊することができました。なれない執筆で、皆様には読みづらい点が多々ありご迷惑をおかけしたかと思ひます。今年も、本通信を通じて梅ヶ島出張所管内の出来事、工事情報、地域の情報等を情報発進していきたいと考えていますので、ご愛読の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。さて、新春号にあたり、出張所関係者の「今年の目標・抱負」を発表いたします。

## 今年の目標・抱負






### 〔出張所職員〕

	氏名【担当】 佐々木 元【梅ヶ島出張所長】
	今年の目標 【目標①】 出張所通信「梅ヶ島 山の声」を毎月1号以上発刊する 【目標②】 健康のため、一つでもスポーツを復活させる
	今年の抱負 昨年の経験をいかして、地域のため、国土保全のため、自らできることを一つ一つ確実に実施していく。
	氏名【担当】 風間 正規【梅ヶ島出張所 技術係長】
	今年の目標 【目標①】 腰を早く治して現場に行けるようになる 【目標②】 出張所の仕事を的確に行えるよう努力する
	今年の抱負 明るい心で日々快適に。
	氏名【担当】 野村 里美【梅ヶ島出張所 事務係長】
	今年の目標 【目標①】 仕事や私生活において「できることはその日のうちにやる。」をモットーとする 【目標②】 早寝早起きで、規則正しく健康的な生活を送る
	今年の抱負 受け身の姿勢ではなく、自分なりに創意工夫を試みながら仕事にチャレンジする精神を続ける。

### 〔支援業務〕

	氏名【担当】 糟谷 直彦【梅ヶ島出張所 担当技術者】
	今年の目標 【目標①】 効率的に仕事をこなし月30時間以上の残業はしない 【目標②】 健康のため、週2回休肝日をつくる
	今年の抱負 仕事を抱え込まないために、妥協点を見出せる人になる。
	氏名【担当】 寺尾 英雄【梅ヶ島出張所 車両管理員】
	今年の目標 【目標①】 気くばり360° 【目標②】 筋肉を鍛え山登りに精を出す
	今年の抱負 今年も安全運転。無事故、無違反。

### 〔工事関係者〕

	氏名【担当】 豊嶋 浩明【(株)新村組「平成25年度 単価契約安倍川水系梅ヶ島出張所管内緊急作業」現場代理人】
	今年の目標 【目標①】 健康の為、週に1回(土曜日)の休肝日を設け、実施する 【目標②】 健康の為、体重を5kg減らす(年末の体重70kg)
	今年の抱負 今年も一年間、現場が無事故、無災害で過ごせるよう安全管理の徹底を図る。
	氏名【担当】 杉山 徳生【(株)白鳥建設「平成25年度 安倍川水系八重沢川砂防堰堤設置工事」現場代理人】
	今年の目標 【目標①】 1日に吸うたばこ本数を10本以上減らす 【目標②】 暴飲暴食を避け、自身の健康のために体重を落とす
	今年の抱負 社会のためになることに積極的に取り組んでいく。
	氏名【担当】 曾根 英弐【(株)白鳥建設「平成25年度 安倍川水系内砂防施設改修工事」現場代理人】
	今年の目標 【目標①】 各種作業手順を整理し、まとめる 【目標②】 健康に留意するため、週1回の休肝日を設ける
	今年の抱負 基本に戻る。…確実な業務を遂行する為。
	氏名【担当】 大橋 裕之【日鋪建設(株)「平成25年度 安倍川水系大ザレ溪流保全工事」現場代理人】
	今年の目標 【目標①】 工期の遅延なく無事故無災害で工事を完成させる 【目標②】 体調を整え、自ら率先垂範し行動する
	今年の抱負 今年、積極的に人助けをし、社会に貢献したという達成感のある1年にする。
	氏名【担当】 長嶋 伸一【日鋪建設(株)「平成25年度 安倍川水系大ザレ溪流保全工事」監理技術者】
	今年の目標 【目標①】 良い工事を行い信頼を得られるようになる 【目標②】 体調管理をしっかり行い、健康維持に努める(メタボ脱却)
	今年の抱負 工事の全体を良く把握して「ムダ・ムラ・ムリ」を無くす。

## 国土交通省の働き(TEC-FORCE)

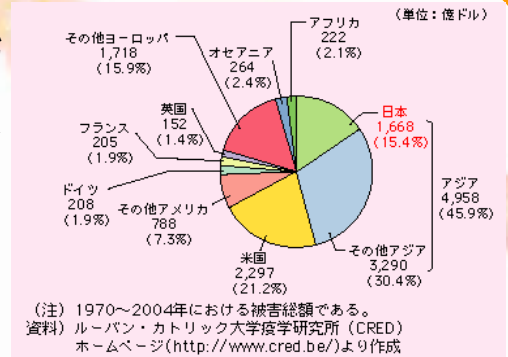
世界の自然災害による被害額を地域別に見ると、アジアが約46%を占めており、中でも日本は、国土面積が全世界の0.25%のみであるにもかかわらず約15%を占めるなど「自然災害大国」と言えます。自然災害としては、日本周辺で4つのプレートがせめぎ合っていることや、内陸部には多数の活断層が分布していることなどから地震、津波をはじめ、台風、高潮、洪水も多くなっています。「TSUNAMI」や「SABO」がそのまま世界の共通語になっていることもうなずけます。

このため国土交通省では、大規模災害が発生したときには、被災地に専門技術者で組織する緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を派遣し、被害状況の調査、被害の拡大防止、早期復旧に関する地方公共団体等の支援を行っています。

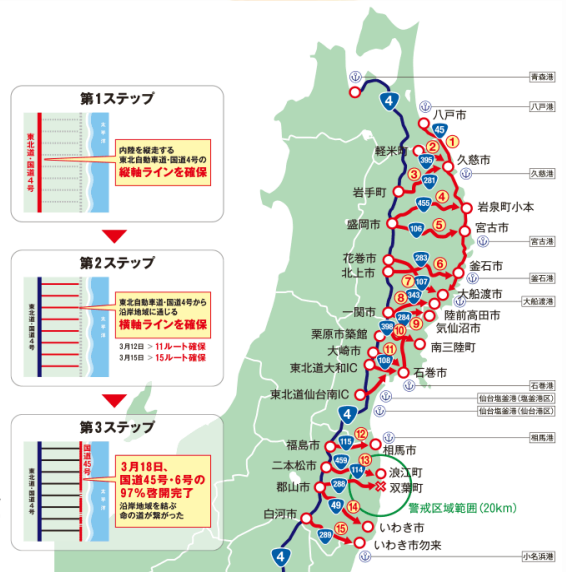
私も平成23年には、東日本大震災の翌日にヘリ先遣隊で、また台風12号時に川根本町役場へ情報伝達窓口として出向、更に台風12号による被災状況調査に熊野市へ10日間派遣され、微力ながら貢献してきました。

ここで、東日本大震災時に国交省が実施した「くしの歯作戦」を紹介いたします。これは、内陸部の東北自動車道と国道4号から、「くしの歯」状に沿岸部に伸びる国道を、国交省や県の職員、陸上自衛隊、地元の建設会社らが一丸となって、がれきの中を突き進んだものです。その結果、翌日の12日には11ルート、15日には15ルートが開かれ、救急車や警察、自衛隊などの緊急車両が通行可能になり、支援物資なども届けられることとなりました。

東海地震等の巨大地震が想定される中部地方においても、中部版「くしの歯作戦」を平成24年3月に策定しました。



世界における自然災害被害額の地域別割合



東日本大震災時の「くしの歯作戦」による道路啓開



「くしの歯作戦」道路啓開作業 山田町 (東北地方整備局資料)



TEC-FORCEによる堤防被災状況調査 (東北地方整備局資料)



荒浜小学校の屋上へ避難した住民 (仙台市資料)



福島県相馬港周辺の家屋流失状況 (出張所長撮影)



中部版「くしの歯作戦」を策定(静岡県の例)

## 編集後記

上記にて東日本大震災時に国交省が実施した「くしの歯作戦」を紹介しました。自衛隊や消防、警察の姿は映るが、「土木」がなかなか報道されません。「国交省は広報がヘタ」とよく言われます。現場で救援や支援などに奔走した者にスポットを当てた図書を幾つか紹介いたします。

- ①無名戦士たちの記録 -道路啓開・国土交通省の戦い-(麻生幾)文藝春秋
- ②東日本大震災語られなかった国交省の記録(道下弘子)JDC出版
- ③大震災からの復旧 -知られざる地域建設業の闘い-(米田雅子)ぎょうせい
- ④啓け!-被災地へ命の道をつなげ-(岩田やすてる)コスモの本[感動の震災マンガ!]

今年も、皆様からの情報やご意見を募集しますので、以下まで是非お願い致します。

Tel:054-269-2003、E-mail:[http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05\\_jigyuu/02\\_office/toiwase.html](http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiwase.html)



ヘリで救出される子供や年配の方々 (仙台市陸上自衛隊観目駐屯地にて) (H23.3.12、出張所長撮影)

